

淡路夢舞台公苑のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 2者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

淡路夢舞台公苑周辺施設も含めた一体での公募について
①案件が大きくなると資本の大きな企業が手を挙げ、資金力の小さい地元企業が入りづらくなる懸念がある。しかし、夢舞台全体のトータルマネジメントの観点からは有効。
②指定管理料次第である。
公募条件について
①安藤建築ということもあり、催し案内や看板を壁等に設置できないそうだが、施設の利活用の観点から不便を生じてしまうので、改善しそれを踏まえた公募内容とすべき。
指定管理期間について
①施設修繕をしながら短期で投資の効果を出すことは難しいので、指定管理期間は長期の方が対応しやすい。
指定管理料について
①水光熱費の高騰など、指定管理者の範疇を超えた部分については配慮があると応募しやすい。
その他
①施設としての魅力は温室だけでなく、飲食店なども含め連動している。夢舞台全体としての魅力アップを考えてほしい。

担当者：まちづくり部公園緑地課 森
TEL：078-341-7711（代表）
メール：kouenryokuchika@pref.hyogo.lg.jp